2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　ユナイトアンドグロウ株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　4486　　URL　https://www.ug-inc.net/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　須田　騎一朗
問合せ先責任者　（役職名）　取締役　管理本部長　（氏名）　岡　美恵子　　(TEL) 03-5577-2091

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,152	23.7	561	27.9	567	29.2	422	30.1
2025年12月期第３四半期	2,549	18.1	438	58.3	439	49.9	324	6.6

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	53.37	53.17
2025年12月期第３四半期	41.16	40.95

(注)　2025年７月１日付けで普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,800	2,567	67.5
2025年12月期	3,475	2,240	64.5

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　2,567百万円　　2025年12月期　2,240百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	30.00	―	13.00	―
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				20.00	20.00

(注)　１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

配当予想の修正については、本日（2026年11月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

２．2025年12月期第２四半期末配当金の内訳　記念配当30円00銭（創業20周年記念配当）

３．2025年７月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期第２四半期の配当金については当該株式分割前の金額を記載しております。株式分割を考慮した場合の2025年12月期の年間配当金は28円となります。

３．2026年12月期の業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,243	20.7	688	22.9	692	23.2	520	26.6	65.66

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

業績予想の修正については、本日（2026年11月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	7,964,400株	2025年12月期	7,963,200株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	45,474株	2025年12月期	56,224株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	7,919,747株	2025年12月期３Ｑ	7,893,468株

（注）１．2025年７月１日付けで普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

２．期末自己株式数には、従業員向け株式交付信託が所有する当社株式を含めております。また、期中平均株式数の計算においては、従業員向け株式交付信託が所有する当社株式を控除する自己株式に含めております。

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内容の入手方法）

当社は、四半期決算説明の動画配信を行う予定です。その内容については、四半期決算説明資料とともに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（追加情報） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（収益認識関係） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期累計期間における我が国の経済は、賃上げの浸透による所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調にある一方、国内外の金融政策の転換に伴う急激な為替・資本市場の変動や米国の通商政策の動向、長期化する地政学リスク等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、企業内におけるシステムの構築・運用やＩＴを活用して経営課題の解決を担うコーポレートＩＴ人材は、依然として深刻な不足状態にあります。当社はこうした課題に対し、ＩＴ人材と知識をシェアする「シェアード社員®」の提供を通じて企業の持続的成長を支援しており、その支援体制のさらなる拡充に向けて、人材の採用及び教育研修への投資を積極的に進めております。引き続き人材の確保と育成を推進し、顧客のＩＴ利活用を多面的に支援することで、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

また、現在当社は首都圏を中心に事業を展開しておりますが、中長期的な企業価値の向上を目指し、人材の活性化及び定着による持続的な成長基盤の範囲を全国へ拡げていく方針です。この成長戦略における事業エリア拡大に向けた取り組みの一環として、2026年９月に株式会社アタックスとの資本業務提携契約を締結いたしました。本提携を通じて、戦略的成長を一段と加速させてまいります。

当第３四半期累計期間の経営成績は、売上高3,152,793千円（前年同期比23.7%増）、営業利益561,048千円（前年同期比27.9%増）、経常利益567,794千円（前年同期比29.2%増）、四半期純利益422,645千円（前年同期比30.1%増）となりました。

当社は、「コーポレートＩＴのマネジメント支援事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、サービス別の経営成績の概要は以下のとおりであります。

① 情シス総合 〈情シスのシェアード社員〉

中堅・中小企業に対して、コーポレートＩＴ全般のマネジメントを支援する会員制サービスを行っております。ＩＴ人材と知識をシェアすることで、中堅・中小企業のＩＴに関する人材不足の解消、課題解決、経済的負担の軽減、企業のデジタル化を推進し、顧客の成長加速を支援しております。当第３四半期累計期間の売上高は2,654,792千円となりました。

② 内製開発 〈内製開発のシェアード社員〉

情シス総合を基盤として、ローコード開発ツールを活用した各種社内システムの内製開発を支援しております。保守メンテナンスを充実させ、内製開発に特化することによりノウハウを蓄積し、顧客側にもノウハウを残すことを目的としております。当第３四半期累計期間の売上高は170,224千円となりました。

③ ＩＴインフラ 〈ＩＴインフラのシェアード社員〉

情シス総合を基盤として、サーバやネットワーク等ＩＴインフラの構築・運用保守に特化した支援を行っております。インフラ業務に特化して蓄積したノウハウを活かし、顧客のＩＴインフラの最適化を実現いたします。当第３四半期累計期間の売上高は169,581千円となりました。

④ 会計ＩＴ〈会計ＩＴのシェアード社員〉

第１四半期会計期間より開始した新たな特化型サービスです。

情シス総合を基盤として、会計知識とＩＴを掛け合わせ、顧客の経理・経営・販売・労務等の基幹業務に関して、業務視点に立った支援をしております。これによって顧客の経営基盤を包括的に強化することを実現いたします。当第３四半期累計期間の売上高は158,195千円となりました。

当第３四半期会計期間末における会員数は855社（前年同期比49社増）、そのうち実働会員は261社（同19社増）、実働会員の関連会社支援社数は238社（同68社増）となり、実質支援社数は499社（同87社増）となっております。また、シェアード社員数は295人（同19人増）となり、シェアード社員の稼働１時間あたりの売上高は10,581円（同16.0%増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期会計期間末における資産合計は3,800,647千円となり、前事業年度末に比べ325,264千円増加いたしました。

流動資産については、前事業年度末に比べ289,315千円増加し、3,439,824千円となりました。これは主に、現金及び預金272,473千円及び前払費用9,377千円の増加によるものであります。

固定資産については、有形固定資産が65,840千円、無形固定資産が88,356千円、投資その他の資産が206,625千円となり、前事業年度末に比べ35,949千円増加し、360,822千円となりました。これは主に、敷金51,840千円の増加、ソフトウエア29,789千円の減少によるものであります。

（負債）

当第３四半期会計期間末における負債合計は1,233,475千円となり、前事業年度末に比べ1,565千円減少いたしました。

流動負債については、前事業年度末に比べ10,451千円減少し、1,211,215千円となりました。これは主に、未払金155,282千円、未払法人税等38,400千円及び株式給付引当金26,857千円の減少、契約負債76,032千円及び賞与引当金135,000千円の増加によるものであります。

固定負債については、前事業年度末に比べ8,885千円増加し、22,260千円となりました。これは主に、株式給付引当金5,771千円の増加によるものであります。

（純資産）

当第３四半期会計期間末における純資産合計は2,567,172千円となり、前事業年度末に比べ326,830千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益422,645千円の計上及び配当による利益剰余金103,518千円の減少によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、本日（2026年11月13日）公表しました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年12月31日）	当第３四半期会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,108,396	3,380,870
売掛金	－	1,089
貯蔵品	19	19
前払費用	36,217	45,595
その他	5,875	12,250
流動資産合計	3,150,509	3,439,824
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	58,059	55,458
工具、器具及び備品（純額）	9,445	8,549
リース資産（純額）	2,583	1,832
有形固定資産合計	70,088	65,840
無形固定資産		
ソフトウエア	117,265	87,475
商標権	1,225	881
無形固定資産合計	118,490	88,356
投資その他の資産		
投資有価証券	25,149	29,655
関係会社株式	－	8,200
敷金	54,748	106,589
繰延税金資産	56,396	61,867
その他	－	313
投資その他の資産合計	136,294	206,625
固定資産合計	324,873	360,822
資産合計	3,475,382	3,800,647

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年12月31日）	当第３四半期会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,914	5,217
リース債務	1,566	450
未払金	233,759	78,477
未払費用	22	22,556
未払法人税等	112,427	74,026
契約負債	700,884	776,917
賞与引当金	－	135,000
預り金	16,531	20,038
株式給付引当金	26,857	－
その他	124,702	98,530
流動負債合計	1,221,666	1,211,215
固定負債		
リース債務	1,010	1,306
株式給付引当金	－	5,771
資産除去債務	12,364	12,388
その他	－	2,794
固定負債合計	13,374	22,260
負債合計	1,235,040	1,233,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	349,432	349,537
資本剰余金		
資本準備金	309,432	309,537
その他資本剰余金	19,144	19,144
資本剰余金合計	328,577	328,682
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,601,360	1,920,488
利益剰余金合計	1,601,360	1,920,488
自己株式	△39,029	△31,536
株主資本合計	2,240,342	2,567,172
純資産合計	2,240,342	2,567,172
負債純資産合計	3,475,382	3,800,647

（２）四半期損益計算書

第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	2,549,044	3,152,793
売上原価	1,340,960	1,631,974
売上総利益	1,208,083	1,520,818
販売費及び一般管理費	769,335	959,770
営業利益	438,748	561,048
営業外収益		
受取利息	3,252	8,930
解約返戻金	－	800
その他	199	701
営業外収益合計	3,452	10,431
営業外費用		
支払利息	85	98
投資事業組合運用損	2,434	3,554
固定資産除却損	39	－
その他	3	31
営業外費用合計	2,563	3,684
経常利益	439,637	567,794
税引前四半期純利益	439,637	567,794
法人税、住民税及び事業税	104,506	150,619
法人税等調整額	10,272	△5,470
法人税等合計	114,779	145,149
四半期純利益	324,857	422,645

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（賞与引当金）

当第３四半期会計期間末においては賞与支給額が確定していないため、賞与支給見込額のうち、当第３四半期累計期間の負担額を賞与引当金として計上しております。

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引）

当社は、2022年11月14日開催の取締役会において、当社従業員を対象としたインセンティブ・プランとして「従業員向け株式交付信託」（以下「本制度」といいます。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託（以下「本信託」といいます。）を設定し、本信託が当社普通株式（以下「当社株式」といいます。）の取得を行い、従業員のうち一定の要件を充足する者に対して付与されるポイントに基づき、本信託を通じて当社株式を交付するインセンティブ・プランです。当該ポイントは、当社取締役会が定める株式交付規程に従って、従業員の表彰等に応じて付与されるものであり、各従業員に交付される当社株式の数は、付与されるポイント数により定まります。本信託による当社株式の取得資金は、全額当社が拠出するため、従業員の負担はありません。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前事業年度末38,863千円、56,000株、当第３四半期会計期間末31,370千円、45,250株であります。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ 前第３四半期累計期間(自 2025年１月１日 至 2025年９月30日)

当社は「コーポレートＩＴのマネジメント支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第３四半期累計期間(自 2026年１月１日 至 2026年９月30日)

当社は「コーポレートＩＴのマネジメント支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
減価償却費	42,121千円	39,376千円

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
情シス総合	2,290,350	2,654,792
内製開発	157,393	170,224
ＩＴインフラ	101,299	169,581
会計ＩＴ	－	158,195
顧客との契約から生じる収益	2,549,044	3,152,793
外部顧客への売上高	2,549,044	3,152,793